

議会改革推進会議「主権者教育部会」会議録

令和 8 年 6 月 2 4 日

亀 山 市 議 会

議会改革推進会議「主権者教育部会」会議録

- 1 開催日時 令和8年6月24日（水） 午前10時54分～午後1時20分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員

部 会 長	福 沢 美由紀		
副 部 会 長	森 美和子		
部 会 員	古 田 吉 昭	櫻 木 善 仁	深 水 隆 司
	草 川 卓 也	中 島 雅 代	森 英 之
	今 岡 翔 平	新 秀 隆	鈴 木 達 夫
会 長	岡 本 公 秀		
副 会 長	豊 田 恵 理		
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局

議会事務局長	大 泉 明 彦	議事調査課長	麻 生 俊 哉
議事調査グループGL	木 戸 将 文	書 記	山 北 康 仁
- 6 案 件
 1. 主権者教育の実施について
 - （1）出前授業の実施内容について
 - （2）議場見学の実施内容について
 2. 3中学校の交流会について
 3. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前１０時５４分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） それでは、ただいまから議会改革推進会議第３回主権者教育部会を開会いたします。

それでは、事項１の主権者教育の実施についてです。

既に皆さんにもお伝えしていますが、出前授業の募集を行ったところ、事項書記載のとおり、神辺小学校より７月１日午前を実施希望として申込みをいただきましたので、本日は当日の体制などについてご協議いただきたいと思います。

実施は、７月１日水曜日午前１０時から神辺小学校におきまして、神辺小学校に伺うんですね。

授業時間は、午前１０時２０分開始で４５分間です。児童は、６年生で１９人です。

また、翌日の７月２日午前、同じく神辺小学校の３年生の庁舎見学を兼ねて、議場見学にも来られますので、あわせて協議したいと思います。これにつきましては、７月２日木曜日午前１０時３５分から１１時２０分までのうち、１５分から２０分程度、児童は３年生であり、１８人おられます。これについては、その１０時３５分から２０分までの間のどこでいらっしゃるかがちょっと不明なので、この間待機していただくみたいなことになると思います。

まず、出前授業のことについて確認したいと思います。

昨年実施した中学生議会前に行った学校説明会で用いた資料を、資料１をご覧いただきたいんですが、小学校６年生向けに再編いたしました。この資料の説明を２０分程度、説明が終わりましたら４人１組の計５グループになっていただいて、ワークショップを２０分程度と考えています。半々ぐらいの割りと考えているところです。昨年の学校説明会でも、同様に行っているやり方です。

また、こちらの参加議員の人数については、先方のご希望もあり、児童数に配慮した人数として５人以内で伺いたいと考えています。議会事務局２人と教育委員会２人は除いて、議員として５人以内ということです。

なお、本日資料１をご確認いただきまして、よろしければ今後はこれを基本資料として活用したいと考えています。まずはこの資料１の確認を行いたいんですが、「市議会ってなあに」の資料１を後で読んでおいてといっても、やっぱりここで今意見もいただきたいので読んで確認したいなと思うんですけどよろしいですか、よろしくお願いします。

山北主任主査。

○議会事務局員（山北康仁君） そうしましたら、資料１の特に口述部分のところを中心に読み上げのほうをさせていただきたいと思います。資料１、改めて発信をさせていただきます。

それでは、「市議会ってなあに」ということで、下の文字の部分を読んでまいります。

〇〇小学校の皆さん、こんにちは。今日は皆さんに市議会についてお話しする時間がいただけて、とてもうれしいです。私たちは亀山市議会からやってきました。まず、自己紹介をします。私は市議会議員の〇〇です。その後は順に自己紹介ということで、最後に市議会がスムーズに運営できるよう議員のサポートなどを行っている議会事務局の〇〇です。

私たち亀山市議会の議員は、どうすれば市民の皆さんの暮らしがよくなるのか、いつも考えています。今回は、亀山市や亀山市議会のことを知ってもらい、大人になっても住みたいな、亀山市ってどんなところかなとか、こんな亀山市になったらいいなあなど皆さんの意見を聞かせてほしいと思います。よろしくお願いします。

突然ですが、亀山市にはつい先日「亀山市こどもがかがやくまち条例」という新しいルールが誕生しました。

この条例（ルール）には、子どもが安心して暮らすことができるまちの実現を目指して5つの基本理念（目当てのようなものですが）を掲げています。

この中に、子どもが自分の意見または考えを表明する機会を保障することとあります。これはもう少し分かりやすく言うと、皆さん子どもたちが自分の意見や考えを言ったり、伝えたりできる機会「チャンス」を亀山市や大人がしっかりと約束するよ、ということです。今回の授業は、この理念にあるように、皆さんが自由に自分の意見を言う機会として使ってほしいと思います。さらに、社会や政治、選挙にも興味を持ってきて、自分で考えて行動する機会になってくれたらうれしいです。

それでは、亀山市のことを考えてみましょう。

まず、亀山市の誕生日についてです。亀山市は平成17年1月11日に旧亀山市と旧関町が一緒になって誕生しました。難しい言葉で合併といいます。合併して20年以上がたちます。人口約4万9,000人の市です。

次に、亀山市の位置を見てみましょう。

亀山市は、三重県の北中部に位置しています。豊かな自然が残りながらも、高速道路や鉄道などがあり、主要なまちとのアクセスに優れています。

次に、亀山市の周りの景色を思い浮かべてみてください。まず、山のほうを見ると、高さが500メートルから900メートルぐらいある鈴鹿の山々がずらっと並んでいますよね。その山のほうから東の海のほう、伊勢平野に向かってなだらかな坂になっている丘や台地が広がっています。また、亀山市の真ん中には、加太川や安楽川と合流しながら流れる鈴鹿川や中ノ川が西から東へと走っていて、最後は伊勢湾の海へと流れていきます。

亀山市の全体の広さは、191.04平方キロメートルです。実はまち全体の半分以上が山や森で、田んぼや畑もたくさんある緑豊かなまちなのです。1年間の平均気温は大体16度ぐらい、冬でも平均5度ぐらいなので暖かくて暮らしやすいのが私たちの亀山市の特徴です。

さて、皆さんは、日本の人口が減っているということは聞いたことがありますか。今、日本全体で人口が減り続けています。15年間で約500万人の人口が減っています。

三重県でも平成17年の約187万人から毎年減っていて令和7年には約170万人となり、20年間で約17万人減っています。また、亀山市の人口も、平成22年の約5万1,000人から減り続けています。令和7年には約4万9,000人となっています。

次に、昔々の話です。亀山市は、江戸時代という時代に宿場町として栄えたまちでした。

宿場町とは、旅人が宿泊する宿や商店などが集まり、それらを中心に発展した町のことを言います。その時代の中でも、特に大きな道だった東海道には、たくさんの宿場町がありました。その中には、亀山宿、関宿、坂下宿という宿場町がありました。昔の亀山は大人気の宿場町で、多くの人たちが伊勢神宮に行くために通ったので、たくさんの人でにぎわっていたそうです。難しい言葉で、交通の要衝と言います。

現在の亀山市も、交通の中心地です。先ほども言いましたが、亀山市は三重県の北中部にあります。

そのため、周りにある津市や四日市市、鈴鹿市といった大きなまちに行きやすい場所なんです。また、みんなも遊びに行ったことがあるかもしれないけど、伊勢や名古屋、大阪、京都などの大きなま

ちにも車や電車で行きやすい場所にあるため、亀山市は物すごく便利なまちなんですよ。

次に、皆さんの住んでいる地域を見てみましょう。

亀山中学校のすぐ横には亀山城多門櫓があります。三重県で唯一、当時のままの形が残っているお城に関係する建物で、史跡といって歴史的に価値の高いものとされています。また、太森町には、三重県でも最大級の大きさを誇る茶畑の中の山パイロットがあります。亀山はお茶の生産が盛んです。ほかにも、東海道47番目の宿場町である関宿には、歴史的な町並みが残っています。

次に、亀山市の仕事について見てみましょう。

亀山市の仕事は、市民の皆さんにとって、このまちを過ごしやすく住みやすいまちにすることです。

皆さんの身近には、学校や保育園などの教育・子育てのこと、障がいのある人やお年寄りを助ける福祉のこと、病院や皆さんの健康のこと、みんなが使う道路のこと、ごみ処理やまちをきれいにすること、火事や急病などに出動する消防や救急のこと、ほかにも農業や林業、水道のことなど、本当にたくさんの仕事があります。

次に、二代表制という言葉について説明します。難しい言葉ですが、せっかくですので覚えてくださいね。二代表制とは、市議会議員と市長とともに市民が直接選挙で選ぶ制度のことです。皆さんが児童会の代表を選挙で選ぶのと同じように、市議会の議員や市長も亀山市の大人たちの選挙で選ばれます。共に住民を代表する立場として、亀山市をよりよいまちにするために努力します。市長が提案する決まりや予算に対し、市議会がその決定をしたり、意見を伝えたりします。市議会も市長も市民の代表として仕事をしています。

次に、市議会議員の選挙についてお話しします。

市議会議員の選挙は4年ごとに行われます。亀山市では、選挙権のある18歳以上の市民が投票して18人の議員が選ばれます。25歳になると、議員に立候補することができます。選挙には、ほかにも、市長、国会議員、三重県知事、三重県議会議員などの選挙があります。

次に、市議会の仕事についてお話ししたいと思います。

市議会では、主に次のようなことをしています。

市の決まりである条例を決めること。市のお金をどのように使うか、これを予算といいます。予算を決めること。市のお金が正しく使われているか、市の仕事が正しく行われているか調べたり、意見を言ったりすることです。

1つ目は、市の決まりである条例を決めることです。

市は、そのまちだけの特別な決まりをつくることができます。これを議会で話し合って決定するのが議会の仕事です。条例とは、学校でいう校則のようなものです。亀山市にはたくさんの条例がありますが、その中で、例えば今から30年ほど前につくられた亀山市まちをきれいにする条例を見てみましょう。空き缶などのごみ、犬のふんなどをきちんと処理し、まちをきれいに保つようにしなければならないと条例で決めています。実はこの条例、ごみのポイ捨ての防止や美しいまちづくりの推進を今まで以上に取り組むために今年の3月に見直しがされています。この条例は、去年の中学生議会に参加したお兄さん・お姉さんの意見がきっかけの一つとなって、よりよい条例に見直されることになったんですよ。

2つ目は、市のお金の使い方である予算を決めることです。

市から提案された予算について話し合いをして決定します。

また、大きな災害が起きたり、世の中の様子が変わり、用意していた予算が足りなくなった場合などは市が補正予算を提案し、議会で話し合って決定します。例えば、皆さんがもっと小さかった頃、新型コロナウイルス感染症の拡大がありましたね。あのときは行事ができなくなったりしたから予算を減らしたり、病気になった人をしっかり治すための施設を医療センターにつくろうと予算を増額したりしました。その時々ピンチや変化に合わせて、お金の使い方を変えるときも議会で話し合って決定します。

3つ目は、市の仕事を調査することです。

市のお金が正しく使われているか、市の仕事が市民の皆さんのためにきちんと行われているかチェックします。

テレビなどで、議員が議場に集まってマイクの前で質問している姿を見たことはありますか。議場で、本当にしっかり市が仕事をしているのかをずばっと質問したり、もっとよくするための意見を言ったりして隅々まで調べるのも議会の大切な仕事なんですよ。

それでは、私たち議員はどんな仕事をしているのでしょうか。大きくまとめると、この4つ。聞くこと、調べること、議論すること、伝えることが議員の仕事です。

1つ目は、聞くことです。

亀山市の問題になっていることを確認するため、市民の皆さんが困っていることを聞いたり、地域や団体からの要望を聞いたりします。

2つ目は、調べることです。

教科書やパソコンの前で調べるだけではありません。実際にトラブルが起きている現場を確認したり、市役所の人から今の本当の様子を詳しく聞き取ったりして状況を調査します。さらに、必要に応じて、ほかの市が行っているまねしたい工夫や特別なアイデアについても詳しく調べるんですよ。

3つ目は、議論することです。

市民の皆さんの生活に関わる条例や予算などを決定するため、もっと暮らしやすい亀山市となるよう質問や提案を行い、活発な議論を交わします。

4つ目は、伝えることです。

議会で議論したことや市への意見などを議会報告会、チラシ、ホームページ、SNSなどを使って皆さんにお伝えしています。

それでは、ここでグループワークを行います。

皆さんが思い描く亀山市の未来のまちの姿はどんなものでしょうか。亀山にこんなものがあつたらいいとか、亀山にたくさんの人が集まるにはどうしたらいいだろう、もっとこうしたらよくなるのになあ、こんなことに困っているよなど、亀山市の未来をみんなで考えてみましょう。

ここでグループワークに入ってください、最後にということで終わる見込みですが、最後に、市議会のことに興味を持ったり、もっと知りたいと思ったら亀山市議会のホームページを見てください。議会の録画映像も配信していますので、ぜひ見ていただきたいと思います。ホームページにはキッズページもあります。よかったら一度見てくださいね。

これで市議会ってなあにというお話を終わります。最後までお話を聞いてくれて、たくさんお話ししてくれてありがとうございました。

これは半分最後余談ですが、これは皆さんのお父さんやお母さんから選んでいただいた市議

会議員の似顔絵です。今日ここにいる議員がどこに描いてあるかなあと探してみてください。

読み上げは以上になります。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

時間としてもどうやろう、12分ですね。55分にこの会議が始まって前段をちょっとしゃべった後にしてもらったんで20分かかっていない、15分、そのぐらいですね。だから、ワークショップよりちょっと多めかな、半々よりという感じでいいバランスじゃないかなとは思いますが。

内容について、ここちょっと気になったよというところがあったら伺いしたいと思います。

新委員。

○部会員（新 秀隆君） 大したことないですけど、2ページの上から2行目に、「この条例（ルール）」ってありますよね。14ページに行くと、14ページの上から2つ目、ここでは「特別な決まり」という形で条例というふうにしておるんやけど、ええっちゃええのやけど言葉の統一性というか、ちょっと気になりました。

○部会長（福沢美由紀君） ルールと決まり、どっちがいいでしょうね。どっちかに統一しましょうか。

多分ルールというのは、このテキストを教育委員会の先生に見ていただいて筆を入れていただいたんですね。その中で、私たちは多分ルールという言葉を使っていなかったと思うので、先生がルールという言葉を入れてくれたんやと思うんですね。そういう意味ではルールのほうが分かりやすいと思われたのかなという気はするんですけど。

教育委員会、やっぱりこれは6年生対応のほうですよ、6年生・中学、そうですね、そんな中で先生が見ていただいた。ちょっと分かりやすく、多分中学生議会を経験された方は若干変わっているなというのがお分かりになったかなと思うんですけど、場面転換のときにちょっと一言入れてもらって、昔々の話ですよとか入れていただいたり、非常に流れが分かりやすくなったかなとは思っているんですけど。

ルールに統一させていただいてもいいですか、文言としてね。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） ほかはどうですか、皆さん。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君） 細かいところも気になったのはあるんですけど、やっぱり14ページのごみの条例が中学生の意見を聞いて変わったよというところ、やっぱり中学生からこんな意見が出て、その中で変わっていったんだというような、今までどおりでなくてももう少し本当にごみがポイ捨てなんかもなくなる、こんな意見が出たから、こういう意見が一つのきっかけになって条例が見直されたんだというのが分かるような説明をちょっと加えたら生きてくるんじゃないかなような気がしました。

○部会長（福沢美由紀君） このお兄さん・お姉さんの意見というのもあれですけども、いろんなきっかけがある中の一つですよということが、それはいいんですね。その中で、中学生議会で具体的にどんな提案がされたのかということが1つでも2つでも入れてあったら、リアルで分かりやすいということですね。

（「そうです」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） ちょっと議事録などを確認しないと、今すぐにはできないかなと思うの

で、文量的にそんなには増やせないかなとは思いますが、ちょっと見てみたいと思いますね。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 7ページの「難しい言葉で交通の要衝」という文を入れる意味がどうかというのと、9ページの「史跡」がなくても多分文章としてつながるかなと思って、難しい言葉で言うとか、新しい言葉を教えるときに、妥協というか選抜するとしたら合併と二元代表制かなというふうに思ったもので、結構難しい言葉でとか説明しておるもんが割と多いかなと思ったもので、選抜するとしたらその2つかなというのと、あともう一点は18ページと19ページの「聞く」と「調べる」の違いみたいなのが、これって何を言っておるのかは我々やと分かるんですけど、小学生が聞いたときに「聞く」と「調べる」の違いがこの説明でしっかり分かるかなみたいなのがあります。

市の現状を聞き取るのと、市民の皆さんから困っていることを聞いたり、地域の団体から要望を聞いたりというところが、こっちも聞き取る、こっちも聞き取るみたいな感じでちょっと判別がつきづらかなというのが、こっちは何をやっておるのか分かっておる上で読んでおるんで、このことを言うておるなと分かるんですけど、初めて聞く小学生は違いが分かるかなというのがちょっと気になりました。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） たくさんご指摘がありましたけれども、難しい言葉を説明する箇所が何か所かある中で、平たくいうと交通の要衝を一々説明しなくていいのではないかと、カットでいいのではないかとというご提案かなと思ったんですけど、「たくさんの人でにぎわっていたそうです」で終わっても問題ないかなということですね。

それじゃあ、それでよろしいですか、皆さんもいいですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そこについてはそうさせていただきます。

あと、議会の仕事か。

（「9ページ」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 史跡も言わんでも通じるかなあと。

○部会長（福沢美由紀君） 「三重県で唯一当時のままの形が残っているお城に係る建物で、歴史的に価値の高いものとされています」でいいということですね、そうしましょうか。

多分、あえて加えてもらったところなんですけど。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 向こうは聞いておるだけなんで、音で聞いとるだけやともう一つつらい。

○部会長（福沢美由紀君） 例えば、中学生だったら言うてもいいかなとか小学校6年生では要らんかなとか、そういうところもあるのかもしれませんが、いいですかね。あえて伝えたいのかどうかの確認だけは教育委員会にも確認させてくださいね。

小学校に行くときは、確かにちょっと難しいからいいかなとは思いますが。

そして、その後は「聞く」「調べる」やね。「聞く」の中には聞くが入っている。「調べる」の中にも聞くが入っているということですね。

いかがいたしましょう。今までのとあんまり変わらないっちゃあ、変わらないんですけどね。確かにそうやって言われてみればそうだなと。

（「相談する、市役所の人に」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 市役所の人から、今の現状、本当の様子を確認したりとかは、詳しく聞き取る、あえて聞くという言葉をここで使わないようにしたほうが分かりやすいかということなのかなと思うんですけど。

人から確認するって言いますか、市役所の人から詳しく現状を確認する、いかがでしょうね。

例えば、最初の「聞く」の漢字も私は、「聴く」ということのほうがよりよく聞くという感じかなと。

（「現場を見たりして、確認を後ろに使って」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 実際にトラブルが起きている現場を見たり、市役所の人から現状を確認したりして状況を調査します。

そうしましょうか。

（「そうしましょう」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 予算を減らすというのと、増額と言っているので、減らすならもう増やすでいいかなと思ったところがあった、どこでしたかな。コロナのどうやらでと言っているところで、15ページか。

予算を増額したりしましたと書いてあるので、その前段はその前段は予算を減らしたりになっているので、あえて増やすでいいかなと思いましたね。よろしいですかね。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 細かいんですけど、8ページの「みんなも遊びに行ったことがあるかもしれないけど」というところで、ここでいきなり距離感が近いので、多分ほかはみんな「皆さん」かなという感じだったんで、そこは統一してもらえればいいかなと。

○部会長（福沢美由紀君） 全部皆さんになっておったね。急にここで仲よしに。

中島委員。

○部会員（中島雅代君） 10ページの亀山市の仕事なんですけど、9ページまでの亀山市は、位置だとか気候だとか一般的な亀山市の状態のことなんですけど、ここになると急にその亀山市が仕事をし出すので、ちょっとここは聞いていて違和感があつたので、自然が豊かだと言っているところが急にそれが仕事をし出すので、市役所の仕事でいいんじゃないかなと思いました。

同じ亀山市という言葉でちょっと聞いていて違和感があります。亀山市の気候がとか、自然が、交通がと言っていたのが急に仕事をし出すんですよ、10ページで、なので市役所の仕事かなと思います。10ページ、伝わりますか。

○部会長（福沢美由紀君） あんまり。これでずっとやってきたので、ちょっとぽかんとしてしまっているだけです。

亀山市ってどんなところですかというのと、亀山市はどんな仕事をしますかというので分けたつもりだったんですけど。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） ですので、私もさっきの中島委員の意見を聞いて、そもそもだから亀山市が何かやってくれておるといふように、小学生の中でつながるところはあるのかなみたいな。

○部会長（福沢美由紀君） 中島委員、どうぞ。

○部会員（中島雅代君） 土地としての亀山市というのと仕事としての亀山市というのが分かれていないので、10ページの「次に」の文章が逆になるのかな、土地としての亀山市が住みやすくなるために市役所ではこんな仕事をしていますという言い方に変えてもらうといいかなと思います。土地としての亀山市がよくなるために市役所というのがあって、それがこういう仕事をしている。

○部会長（福沢美由紀君） 分かります。言わんとするところはとてもよく分かるんです。ただ、その市役所という言葉が狭い意味で取られると、消防署が入るのかとか、ごみを捨てる場所が入るのかとかいろんな意味で、それを全部包含するとすると亀山市なのかなというところで多分これまで来たんだと思うんですね。

どうですかね。

森委員。

○部会員（森 英之君） 中島委員の言われることも分かるんですけど、人と見たときに、今までの9ページまでは亀山市というのはどんな人なんですかとか人物像みたいなのを、人となりを表現するページであって、10ページ以降はその人がどういう仕事をしているんですかとかいう、そういう説明になるんじゃないかという捉え方をすると、そんなそれほど違和感はないのかなと思ったりもするんですけど、どうでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、どうしたらいいかな。病院も市役所と見るのか、消防署も市役所と見るのか、ごみ処理する場所も市役所と見るのか、支所も市役所、それはいいかなとか。市役所という言葉ってそこまで全部含まれているのかなと、私はちょっとそこが引っかかるんですけど、どうでしょうね。

分かりにくかったなと感じられたんだったら、その声は大事にしたいなと思うんですけども、ちょっとすぐにすきとする案が分からないんですけど、先生も中学生議会をずっと毎回聞いてもらっている中なんで多分ご存じなんですけどね。市役所って何を示すのかとかいうのを調べたりとか先生方にもちょっとお聞きして、そこら辺はまた後でさせてもらっていいでしょうかね。ほか、どうですかね。

どうぞ、山北主任主査。

○議会議務局員（山北康仁君） すみません、21ページなんですけれども、「伝える」の部分で上の絵と下の文言が合っていないので、上の表現に合わせて口述を直したいなと思います。チラシとか議会報告会というのが一切出てきていけませんので、議会報告会って特に議会としてしているわけではないのかなと思いましたもので、この表現は改めたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） これは一人一人の議員がどんな仕事をしているかという場所なんですけれども、議会としてしているかということではないんですよね、そうなんですよ。ですから、議会では例えば番組も作っているんでこういうもので伝えているけど、個人の議員はそれぞれですわな、そこを分かるように整理しましょうか。といってもちょっと今すぐ出ませんけれども、これは個人個人の議員さんって何しておるのかという質問から出たテキストなんですけど、そうですね、そこが分かるようにちょっと整理をさせていただきたいと思います。

今、大分と皆さんに見ていただきました。よろしいですか、ほかはいいですかね。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） そうしたら、これを使ってさせていただきたいと思います。

3年生の部分はもっとまた分かりやすいというか、砕いてなっています。

すみません、申し訳ないですけどお願いします。3年生の分も読んでください。

山北主任主査。

○議会議務局員（山北康仁君） それでは、併せて資料2「市議会ってなあに」3年生のほうの資料について読み上げさせていただきます。今、発信させていただきました。読みます。

皆さん、こんにちは。ようこそ亀山市議会へいらっしゃいました。

〇〇小学校の皆さんに会えるのを楽しみにしていました。ごめんなさい。議場見学の場合としていますがけれども、ここは議場見学で行った場合にこの一言を入れたいなというところでした。

それでは、まず今日出席したよという印として、そうっとこの黒い棒を立ててみてください。

それでは、今から自己紹介をしますね。私が今日説明させてもらう〇〇小学校区の〇〇です。よろしくお願いします。以下、繰り返してございます。そのほかにも、議会の準備をしたり議員のお仕事を手伝ってくれる市役所の人たちがいます。よろしくお願いします。

さて、突然だけど、この場所は議場と言います。

亀山市のこと、亀山の市民のことを話し合う大事な場所です。市議会の人たち、つまり私たち議員は、議場という場所でたくさんのことを話し合います。皆さんの学校にも、そんなところないかな。児童会ってないかな。

〇〇小学校には〇〇人の子どもたち、たくさんの子供たちがいると思います。〇〇小学校のことを話し合おうとなつて、全員が1つの教室に集まって一度にわあわあしゃべっても、声も聞こえないし、何をしているか分からなくなるし、大変ですよ。だから児童会があるんだと思うんです。〇〇人の子どもたちを代表する児童会の子が〇〇人いる。その中でいろんなことを話し合ってくれていますよね。

亀山市は5万人より少ないぐらいの市民がいるけれど、たくさんの方の中で18人の議員がいます。市長さんは1人です。議場とは、その18人の議員たちが市長たちと大事なお話をするとところだと覚えてください。

じゃあ、市議会って何をするのということをお話しします。

画面の左、緑の丸が市議会、右の青い丸が市長とあります。まず、市長から、こんなふうに亀山市をよくしたいから、これぐらいのお金を使ってこんなことをやってみたい、こんな市の決まりをつくりたいと市長から相談・提案があります。昔々、王様やお殿様がいた時代なら、「こうやります」と言ったら、みんなは「ははー、そうします」とそのとおりにするしかありませんでした。でも、今の時代には議会があります。市長さんが「こうしたいです」と言ったら、議会の人たちで、「それはいいことだなあ」とか、「でも、こんなことはできないのかなあ」とか、「本当にいいのかなあ」とか、「このお金の使い方はどうかなあ」と、きちんと調べたり考えたりするわけです。それで、これでもいいなと決めたり、これは駄目だよとストップしたりできる、それが議会なんです。市長も市議会の議員も、それぞれ市民から選ばれて、一生懸命亀山市をよくしようと話し合っています。

さて、画面に選挙とあります。

皆さんが児童会の人を決めるときも、きっとじゃんけんで決めるわけではないよね。投票で選ばれるんじゃないかな。議員も市長も投票してもらって、選ばれてここへ来ています。

市によって、議員になることができる数が違います。亀山市の議員は、18人になることができます。市長は1人です。どちらも市民の皆さんに選んでもらってここへ来ます。皆さんは、18歳になったとき（高校3年生ぐらい）、あの人にお願いしたいな、この人がいいなと投票することができます。また、25歳になったら、議員になりたい、市長になりたいということ、難しい言葉で立候補といいますが、議員や市長に立候補することができます。そういう選挙という仕組みで選ばれた人たちが、この議場へやってきて大事なお話をするわけです。

じゃあ、議員はどんな仕事をしているんでしょうか。よく何をしているのと聞かれます。

大きくこの4つ、聞く、調べる、話し合う、伝えるということが議員の仕事です。

まず、議員の一番の仕事は、市民の皆さんの話をよく聞くことです。こんなこと困っているよ。道路が壊れていて危ないから直してほしいとか、そういったお話を聞きます。皆さんも困ったことがあったら言っていんですよ、学校の困り事とか。私たちは、小学校や中学校のエアコンのことも聞いています。いろんなお話を聞いて、今、亀山市がどうなっているのかなということを確認します。

次は、聞いたお話を基に、本当にどうなっているのかなと調べるというお仕事です。

実際に困っている場所を見に行って、その様子を確認したり、よその市ではどんな工夫をしているかな、日本の法律ではどうなっているかななどを調べたりします。亀山市をよくするにはどうすればいいのかなと一生懸命調べます。

次は、調べた内容を基に、市議会と市長が話し合います。話し合って、大事な決まりや大切なお金の使い道を決めるため、しっかりと話し合いをします。すぐに決まることもあれば、なかなか意見が合わなくて何度も何度も話し合いを重ねながら決めることもあります。

最後は、伝えるというお仕事です。

皆さんから聞いたこと、それについて調べたこと、市長としっかり話し合って決めたこと、それぞれどうなったのかについて、皆さんにお知らせするのも大事な仕事です。だから、亀山市議会では、議会だよりやインターネット、テレビなどを使って、市民の皆さんに一人一人に伝える取組をしています。議員が自分でチラシを作って配ることもあります。

議員はどんな仕事をしているのかなというお話でした。

これで市議会ってなあにというお話を終わります。ありがとうございました。

これは、皆さんのお父さんやお母さんから選んでいただいた市議会議員の似顔絵です。今日ここに
いる議員がどこに書いてあるかなあ、探してみてください。

以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君）　ありがとうございました。

てにをはとか、ちょっと直さないかんというところが数々あったと思うんですけど、いかがですか、特には。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君）　8ページなんですけど、小・中学校のエアコンの話なんですけど、神辺って多分エアコンが完備されておってエアコンが何か課題に感じにくいかなと思うので神辺に合わせた文言にしたほうがいいかなというふうには思いました。

○部会長（福沢美由紀君）　体育館はどこも配置されていないので、体育館に変えましょうか。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 絵の２ページ、２段目の「まず、市長から」その３つ下に「市長から」。

○部会長（福沢美由紀君） もう一遍、市長が２つありましたね。下を消すかな。

ほかに。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 画面の３ページの「市議会議員は１８人になることができます」、「１８人です」でいいんじゃないですか。「市長は１人です」だから。

○部会長（福沢美由紀君） ああ、そうですね。

さっきの市長が２つ出ちゃうところはどっちを消そう、最後を消したほうがいいかな。

「まず、市長から、こんなふうに亀山市をよくしたいから、これぐらいのお金を使ってこんなことやってみたい、こんな市の決まりをつくりたいと相談・提案があります」ですね。後ろを消しましょうかね。

細かなところは、もう一遍ちょっと読み直して整理せねばなりませんが、これも教育委員会の先生方に目を通してもらって、少し手を入れてもらったところだと思います。

３年生で、今まで何回か議場訪問の経験をさせていただいた中で、やはり中学生とは全然違って、議場に入った途端の興奮がちょっとすごくて、ちゃんとみんな話を聞いていただける環境にするのもなかなか大変です。

一応この間、先に議場に入ってもらった体でこのテキストは作ってあるんですけども、例えばこちらで座学ということで、しっかりと座って、落ち着いてスライドを見てもらってここで、例えばね、この市議会って何やなという話を先にしておいて、今から見ていただく議場というところで話をすることもあるし、ここで今の班のグループワークみたいにして丁寧に話をすることもあるよということを説明した上で、議場に行って説明するというのもありなのかなということも、ちょっとこの間説明が終わった後、感想を持ったところですけども。

どうですかね。何人かの皆さんも経験をさせていただいているので忌憚ない、大体３年生が来られるみたいですね、基本的にね。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） ここでできるんやったらええのかなって。人数によっては議員側と執行部側に座ってもらわないと椅子が足りない場合があるので何か聞きにくいというか、ここやと皆さんにちゃんとお伝えができるのかなと思うんですけど。

あと、これ今読んでおって何分ぐらいなんやろう。結構長いと思ったけど大丈夫かなと思って、議場も見てもらって、ここでしっかり説明して、議場も見てもらわなあかで大丈夫かな、いいかな。

○部会長（福沢美由紀君） 厚さは物すごく薄いのです。

（「２０分ぐらいですかね」の声あり）

（「移動せないかん」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 前も１０分と１０分でさせてもらいましたね。３年生の場合、１０分と１０分ぐらいでとか言って。

山北主任主査。

○議会事務局員（山北康仁君） さっきしゃべっていた時間が、経過表を見たら７分になっていまし

た。

○部会長（福沢美由紀君） 櫻木委員、どうぞ。

○部会員（櫻木善仁君） 前回の反省からいくと、やっぱり中に入ってしまうとわちゃわちゃして、せつかくのこの説明が聞き取れていないかなというのがやっぱりありますので、子どもたちは聞いたことを書きますよね。だから、ほとんど書けていなかった子もいましたので、議場へ行ってから委員会へ行きましたが、逆にこの委員会室でそれをおいて、ここが委員会室ですよと、そこから議場に行くんですよという流れをちょっと変えて、ここで説明をして、しっかりと説明した後に向こうでわちゃわちゃやってもらうというほうがいいかなというふうに思います。

○部会長（福沢美由紀君） じゃあ、一回この神辺学校でそういうやり方でやらせてもらってみましょうかね。そうですね、どうなるかは本当に試行錯誤しながら。部会なんで果敢にトライをしたいと思いますが。

じゃあ、一旦ここに集まってもらってということのやり方でしましょうか。

テキストで、またちょっと文言精査はさせていただきますが、大きくもう変えたいとかいうところがあるかもしれませんけど、よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そうしたら、そういう流れでさせていただきたいと思います。資料の確認をさせていただきました。

次はワークショップなんですけど、6年生の、一応先ほどのテキストでは中学生議会でやったワークショップのやり方、亀山について、どんなことでもみんな付箋にたくさん書いてみてということで、いいことも悪いこともいろんな意味で、お勧めであったりいろんなこと書いていただきまして、場所であったり人であったりもう本当に様々という感じで書いていただきました。

そのやり方で、6年生も中3も一緒にいいのかというところの確認ですね。

今度は5グループということで、1グループが4人という、割と丁寧にみんながしゃべれるのかな、貼り付けられるのかなと思います。ホワイトボードはないということなんで模造紙を用意して、付箋とマーカーを用意するということですね。書いてもらったものをまとめていただいて、意見をある程度まとめていただいて、班で発表していただくということですね。

なんですけど、テーマの出し方が亀山についてということで。

（「6年生はワークショップはやっているのかな、慣れているかな」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 班活動はかなりいろんなところでやっているみたいですね。

山北主任主査、お願いします。

○議会議務局員（山北康仁君） 6年生の担任の先生に、班になってくださいというときに、どうですかとお聞きしたら、それはもう慣れたものだということでおっしゃっていたので、ここは。

○部会長（福沢美由紀君） 慣れたものです。

今まで流れでお話させてもらおうと、今までも班活動、最初はしゃべってもらって、班で意見を出してもらったものをホワイトボードに、書記に書いてもらってやったんですけども、なかなかしゃべっていても採用されない人がいたり、しゃべらない人がいたりということで、やっぱりみんなが声の大小に関わらず意見が出せるためには付箋で書いてもらったほうがいいんじゃないかなということ、途中からそういう付箋の方法に変えてきた経緯があります。

テーマはどうか、前と一緒の感じでいい。

今岡委員、どうですか。

○部会員（今岡翔平君） これは5人しか行けないんでしたっけ。

○部会長（福沢美由紀君） そうなんですよ。だから、しゃべる人とプラス4人ですよ、事務局は別ですよ、できると思いますか。

（「テーマはこれでできるってことですよね」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） では、今までの中学生議会と同じような感じでやりましょう。

そうしたら、参加したいという方をお願いしたい。例えば説明員をしたいという方があるんでしたら、ちょっと皆さんからご意見いただきたいと思うんですけど、小学校6年生のワークショップに参加したいという方は手を挙げていただけますか。一応、すみませんけど。

ようけいらっしゃいました。下ろしてください。

取りあえず、例えば説明員、説明をこのテキストを使ってやってみたいわという方はいらっしゃいますか。

（「2人ぐらいでやる」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 1人でやってもらったらどうでしょうか、1人でがっつとやってもらったらどうでしょうかと思っていますけど。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） じゃあ、櫻木さんがちょっと今度説明して。いいですか、皆さんね。まずは説明員を1つ決める。

それで、すみませんけど、ワークショップはちょっと経験のある方。

（「誰でもいける」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 大泉事務局長、お願いします。

○議会事務局長（大泉明彦君） 途中で挟んで申し訳ございません。

それはお昼に動いていただきながらご相談していただいて、ちょっとお話もしていただきながら、12時に下にご集合ですので、お手洗いであったりとかご準備いただいた上でということで、お願いします。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

それじゃあそのように、人数が多いので調整をさせていただくということでお願いしたいと思います。

議場見学のことも先ほどちょっとお話をさせていただいたんでそのようにさせていただくということで、こちらで最初に座学で見ていただくということになります。これについても、だから人数を、どっちに皆さん行きますかということで調整させていただきたいと思います。

それで、あと5分しかないんですけども、今岡委員よりご提案がありますのでそれを皆さん聞いてください。

○部会員（今岡翔平君） 3中交流会についてという、事項書のほうにも入っているんですけども、資料が1枚入ってまして、櫻木さんと私と森 英之さんと古田さんの4人で、中学生議会で質問のあった3中交流会を開催したいということで計画をしておったんですけども、当初は有志の自主企画でやる予定だったんですけども、中原教育長のほうからちょっと情報が入りまして、3中学校に

公式に案内して、多分学校LINEで概要を流す程度だと思うんですけども、部会として公式にやってもらいたいという依頼がありました。

概要は、8月8日の午後1時30分から4時終了予定で、図書館の多目的室か、もしくは議場、委員会室をちょっと考えているんですけども、対象としては3中学校の3年生から16名ぐらい募集できればなど。

内容は、まだ大きくは固まっていないんですけども、当日、主権者教育部会の部会員の参加というのは自由にさせてもらって、ただ、本番までで部会長、副部会長、事務局に確認を取りながら部会として、こういう3中交流会を実施するということの了解を得られればなというところなんです、いかがでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） 中学生議会でも交流をしていただきたいみたいな声もあった中で、こういうご提案なんですけれども、この主権者教育部会としてこれに取り組むということについては皆さんどうですか、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 大体どんなふうにするかというのは、アイスブレイクとしてワークショップをしていこうと、子どもの権利すごろくというのがありまして、子どもの権利条約がだんだん分かっていったり自分の声を出しやすくなりするすごろくなんですけど、また一度議員の皆さんも一遍それでやってみていただきたいんですけども、それを使って声を出すような、柔らかくしてそしてワークショップをしていこうという中身です。

こういう流れでやっていくということで、皆さんよろしいですか。集まった人数によって場所を考えるとということですね。日は8月8日の土曜日ということでございます。分かっていたきたいと思います。

急に最後は飛ばしましたけど、よろしいですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） お昼ですので休憩を取りまして、また午後再開いたしたいと思います。よろしくお願いします。

午前11時55分 休憩

午後 1時00分 再開

○部会長（福沢美由紀君） それでは、会議を再開いたします。

主権者教育、神辺小学校6年生、7月1日、皆さん先ほど手を挙げてもらった方の中で、新さんについてはやはり2日のほうが都合がいいかなということやったもので、そうしますと、櫻木さん、古田さん、森さん、森さん、中島さん、今岡さん、鈴木さんということで、結構5人というのにはちょっと多いんですよ。だから、部会長と副部会長が分かれて、すみませんけど、1人ずつ入らせていただくとありがたいんですけども、そうしますと。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 私も、もう5人のほうは譲りますので。

○部会長（福沢美由紀君） そうですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 申し訳ないんですけど。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 先方が言っているのではないです。

○部会長（福沢美由紀君） 鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君） 僕もいいよ、2日に行けばいいでしょう。

○部会長（福沢美由紀君） すみません。

そうしますと、おかげさまで福沢、櫻木、古田、森、中島という5人で。草川委員はよかったですか。

○部会員（草川卓也君） どっちかは。

○部会長（福沢美由紀君） 絶対ではない、これからも何回かありますので。

草川委員。

○部会員（草川卓也君） 2日は無理なので、私。1日もたくさんいたので。

○部会長（福沢美由紀君） 遠慮していただいたんですね。すみません。

そうなんです。狭き門だったんですけど、よろしいですか、今言った5人で。櫻木さん、古田さん、森さん、中島さんで、ちょっと福沢が入れさせていただくという5人でよろしいですか。

それで、櫻木さんが説明員をしていただくということでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） それで1日は行きたいと思います。

2日について行けるよという方、すみませんけど手を挙げていただけますか。

ここは別にいっぱい、広々していますんで、18人ではありますけれども、そう威圧を与えるような環境ではないので、見ていただくのもありかなと思うし、ちょっとやり方を変えますんで、そこについてでもできたら見ていただきたいなという思いはございます。今手を挙げていただいた方以外で、もし行けるようになったよとなったらまた教えてください。

そして、中学校の交流会で、8月8日とありますけど、いろんな日程を結構何か上げていたと思うんですけど、もう8月8日しかないということでよかったんですか。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 最初、下打合せのときの候補はどこも、何もイベントはなくて当初のとおり、こっちでもう8月8日に絞ったという感じです。

○部会長（福沢美由紀君） 納涼大会と同じ日なのでどうですかねという話があったんですけど、ほかの日というのはどうですか。

子どもとしては納涼大会との重なりは、問題はどうかでしょうね、午後4時終了なんで。納涼大会は何時からでしたっけ、5時からでしたか。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） そうです。5時からです。午後5時から8時45分までの予定です。

○部会長（福沢美由紀君） よろしいですか、いいですかね。

森さん。

○部会員（森 英之君） 納涼会の準備もあつたりするので、変えられるのであれば変えてもらいたいところではあるんですけど、皆さんのご意見に従います。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 9日の日曜日もちょうと確認をもう一回して、よければそっちで取り直します。

○部会長（福沢美由紀君） 土・日ということですね。

よろしいですか、部活のことで聞いていただくという話が何かあったような気がするんですけど。今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） そこは特に問題はなかった。

○部会長（福沢美由紀君） 麻生課長。

○議事調査課長（麻生俊哉君） それは教育委員会のほうに確認させてもらって大丈夫でした。

○部会長（福沢美由紀君） 特に問題はなかった。そうなんですね。

8日、9日の中でもう一遍聞いていただくということで、日が決まらんうちは皆さんの出席も決まりませんが、これについては中3対象でしたっけ。教育長のご意向としても、何か今まで中3の子に子ども議会をやってきたという中で、ぼそっと今年抜けるのまあという、ちょっとそういう思いも少しあったということですので、中3対象で呼びかけていただくということですね。またちょっと先になりますので、詳しくはまた詰めていただいて、後でまた提案させていただくということで、日が決まったら、また皆さんに出席のほうも確認させていただきます。

テーマについても、図書館ということでちょっと提案されていますけど、もしほかにもこんなテーマはどうやなというようなことがあれば、お伺いしておきますけどよろしいですか。それでは、そういうことで、いろいろ資料ですとか文言ですとか少し変えましょうねということが先ほど議論で出させていただきましたので、最終的には部会長と副部会長にお任せいただくということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） できたものは提示いたしますので、よろしくお願いいたします。
森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 2日ですけど、これは説明員とか募っていただいたほうがいいんじゃないでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） 忘れておったね。2日の説明をどなたがしていただくかが抜けておりました。2日の小学校3年生に対する説明でございます。

（「今岡さんにやってもらおうか」の声あり）

○部会員（今岡翔平君） 1人でいいですか。

○部会長（福沢美由紀君） 1人です。要するにこのテキストを使つての説明をする人という意味です。

よろしいですか、今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） はい。

○部会長（福沢美由紀君） それで、委員会室はここだよというところまでしたら、次、議場に行きますけれども、議場に行ったところで議場のいろんなものの説明とかはさせていただくんやけれども、特に興奮するのが議長席に座るといふのと傍聴席に座るといふのが、何かうまいこと両方ともちゃんと体験できるかどうかというのが、けんかしたり何だりして、あそこに行けやんだとか長いこと座れやんだとか言っている子もおったもんで、ちゃんとできているかどうかを見てやってほしいし、全体

的な時間を見ていないと、やっぱり最初の子だけ長いことゆっくりして、最後ぱぱっとやっちゃったりするもんですから、さくさくと流れるようにの配慮も、皆さんで手分けして議長席辺りについてもらう人やら、流していただく人やら、終わった人を反対側へ誘導していただく人やらで一々ここで誰々って決めなくても大丈夫ですかね。当日はうまいこと分かれて、すみませんけどお願いします。

深水委員。

○部会員（深水隆司君） 庁舎見学の一環で来るということでよろしいかね。

○部会長（福沢美由紀君） そうです。

深水委員。

○部会員（深水隆司君） その一部分ですね。

○部会長（福沢美由紀君） はい、だから何時にいらっしゃるのかはちょっと。

調整して最初に来てもらうのか、そういうのができるのかどうか分かりませんが、取りあえず、この前まではその間中待って、来た来たということで対応したというところが多いかなと思っています。ですので、この間の時間を取っておいてください。

ほかはよかったですかね。1日と2日のことについて、そしてまだ全部決まり切っていませんけど、3中交流会のことについて皆さんに検討をいただきました。

大泉事務局長、お願いします。

○議会事務局長（大泉明彦君） 1つだけあれなんですけど、3中交流会、これは部会として取り組んで、今から日程を調整していただいてというふうなことで進んでまいりますが、この背景のところでお書きいただいている部分、学校LINEで概要を流すというふうな形の部分ですが、もう夏休みに入ってまいりますもんで、子どもらが。ですのでちょっと早めがええかなというところと、推進会議のほうに3中交流の件を言っておいたほうがいいのかなどは思います。そうすると7月17日が全協の日ですので、その日を活用できるかなと思います。

スケジュール感のお話、私させていただいてございますが、推進会議と学校さんへの案内の依頼を考えるともう7月17日、その前に資料も用意しなければなりませんので15日ぐらいがリミットになってくるかなと思いますので、ちょっとお含みおきいただければと考えます。

○部会長（福沢美由紀君） 学校へのそういう周知のお願いをするのが15日ということですかね。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 夏休みは多分21日からだと思いますので、LINEですと流れるのは流れますけれども、その原稿であったりこの3中交流会をするということは、推進会議に上げていただくという形になりますと17日を会議の日に設定させていただこうと思いますので、17日までは両方決めていただけるとよろしいかなと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 17日の推進会議に通ったら、すぐにもう学校のほうで周知していただく体制を整えるということですね。分かりました。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） このチラシは誰が作るの。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 僕が作ります。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 子どもたちが絶対行きたいと思うようなチラシをお願いします。

○部会長（福沢美由紀君） 周知のチラシのデザインを今岡委員にお願いするということで、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） ほかにはどうですか。どうぞ、何でも。

大泉事務局長。

○議会事務局長（大泉明彦君） 細かいことを言うてごめんなさい。周知のデザインを今岡委員さんにご厄介になって、正・副一任というふうな形の中で17日に推進会議に出していくという形でよろしいですか、それとも部会をもう一回開いてという形を想定しましょうか。

○部会長（福沢美由紀君） どうですかね。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） グループLINEを作っていて、そこで確認していただけたらいかがですかね。

○部会長（福沢美由紀君） はい。あとは日にちと、内容をもう少し、あとチラシの内容についてはグループLINEの中で皆さんに確認いただくということで、その中で日を切って意見を言っていたきながら。

そういう進め方でいいですか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 基本的にはお任せいただくということで、ありがとうございます。これで全て言ったかな。

ほかに何かありませんか、皆さんから。

中島委員。

○部会員（中島雅代君） 1日の話に戻ってもよろしいでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） はい。中島委員。

○部会員（中島雅代君） ワークショップをするということなんですけれども、中学生議会のワークショップに参加をしていないのでどのように進めていたのかが分からないんですけれども、教えていただいてもよろしいでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） 中学生議会のようにとは申し上げましたが、どんなふうにするかということですね。

基本的には先ほどテキストに書いてあったように、こんな亀山市になったらいいなとかちょっとちらっと、22ページかな、ここでグループワークをしようというところで、亀山にこんなものがあつたらいいなとか、たくさんの人が集まるのにはどうしたらいいだろうとか、こうしたらよくなるのになとか、こういうこと困っているよとか、とにかく、亀山市というキーワードで何を書いてもいいよという言い方で中学校3年生のときには書いていただきました。亀山市のこんなところが好きとか、こういうところが推しとか、場所であれ、人であれ、ものであれ、文化であれ、何でもいいということで書いていただいたところです。

それをグループの中で分類というか、カテゴリーに分けていただいて、うちのグループはこんなふうに意見が出ましたということをそれぞれ誰かが代表でしゃべる人を決めてもらってしゃべってもら

う、それを共有し合うというところでしたね。そこで終わりです。

山北主任主査。

○議会議務局員（山北康仁君） 写真がありましたので共有させていただきます。

中学生議会のことをご視察なさる自治体さん向けに作った資料の一部の写真なんですけれども、今発信させてもらった写真、これがワークショップの様子ですね。ちょっとこれしか今ぱっと出せるものがなかったのであれなんですけれど。

○部会長（福沢美由紀君） 割とちっちゃいホワイトボードだったんで、この中学校は、貼るのに難儀していましたが、今度は模造紙を使わせていただくということでもうちょっとできるかなと思います。重ねて貼ってもらいました。それで各グループに何となく一人一人寄り添っていただいたりしていましたかね。そういう関わり方で、なかなか出なかったらちょっと応援したりするというものでしたけど、何か具体的にこういうところが聞きたいとかってありますか。

中島委員。

○部会員（中島雅代君） 時間は20分ですか。

○部会長（福沢美由紀君） そんなもんです。

中島委員。

○部会員（中島雅代君） 発表まで。

○部会長（福沢美由紀君） 全部合わせて。でも、先ほどしゃべった時間が15分ぐらいだったんで、あえて質疑応答とかは延びないようにしながら、あとはこちらに寄せてもいいかなとは思いますが。

中島委員。

○部会員（中島雅代君） 模造紙と付箋とペンも用意していただけるんですか。

○部会長（福沢美由紀君） はい、こちらで用意する。議会のほうで用意していますので。

もっとうこういうテーマのほうがいいんじゃないかと、そういうのが出てきたらどんどんまたお声を頂戴したいんですけど、今日のところは出なかったので前と一緒にしましょうかということで、この提案でさせていただこうかなと思うんですけど、よろしいですか。

中島委員も、ほかはいいですか。

どうぞ。

○部会員（中島雅代君） それで、このワークショップの進行は誰がするというのは決めなくていいですか。

（「部会長ですかね」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） この日は私かな。

ワークショップの司会というのは決めていなかったんですよ。担当でしゃべった人が、もうそのまましていたんで特に決めてなかったんですけど、今回は座学でしゃべってもらう人を1人に絞りましたんで、ワークショップとして福沢がさせていただこうかな。別にやりたい方がおられたらやっていただいてもいいんですが、全然。

いいですかね、ほかに気にかかることはありませんか。

タイマーとかも多分あると思うんですけど、あと何分でとやりますんでご用意を。すみません、学校にあるのかも分からないので、多分あると思うのでちょっと確認をいただいて、写真の撮影が大丈

夫かどうかの確認と、グループワークの中身を全部記録を取っていただくのにそれもよろしくお願いします。

よろしいですかね。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） それでは、これで議会改革推進会議の第3回主権者教育部会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

午後1時20分 閉 会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 8 年 6 月 24 日

議会改革推進会議主権者教育部会長 福 沢 美由紀